



Hさん再び

みなさん、  
覚えておいででしょうか。  
一筋縄ではいかなかった  
Hさんがまた、  
3カ月ぶりに来られました。

今度は、痛いと言われていたのと  
同じ拇趾でも逆側、

外側の痛みでした。

## 復習デス

拇趾の爪の両端の皮膚のところが痛い、と言われて来院されたHさん。

まず人工爪で隠れた爪刺にextension作成しました。

そして、10日たって、また痛みがでてきていると再度来院。

人工爪を一度はがして、再度よく観察してみると、  
拇趾の内側の痛みがある箇所では、  
前回みられた爪刺よりも、さらに奥にまだ別の爪刺が隠れていて、

それを再度人工爪でextension処置。

これにて一件落着かとのコトの顛末でございました。

# コレです。思い出しました？



全体を  
アクリルで  
固めて、、、



Tubeはアクリル樹脂に埋め込み

奥にまだ爪刺が隠れてるかもしれないのですが、  
とりあえず、肉芽に当たらんようにしましょか、と、  
とりあえずtube splinting。  
案外、すんなり挿入できました。

肉芽を切除すると、奥までちゃんと見えるかもな、と思いましたが、  
今回は切らずに、tube splintingで逃げました。

爪甲が湿軟しており、人工爪作成しても、剥がれ易いかな、と  
思い、今回はこちらもtube splintingとしました。

今回は、こちらの問題。

Tube splintingというのは、tubeをあてる、ということで、  
その処置にはをガター法って名前があります。

ガター法ってのを説明しといたほうがよいでしょうか。



コレです



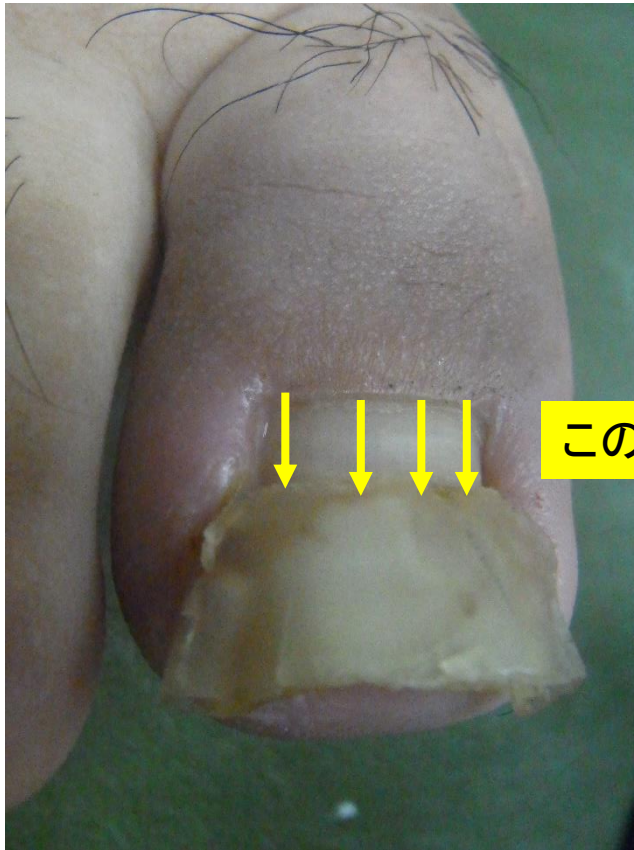
シリコンチューブの一か所に切れ込みを入れて、開くようにする。  
切り開いた部分を、  
爪の端と皮膚の間に挿入して(爪にかぶせて)、  
爪が皮膚に直接当たらないようにする。



今回の、コレが、どういうことになっているのか、説明しますと、、、

ガター法で設置したtubeは、アクリル人工爪で固定してますから、  
本来のご自身の爪の上につけ爪が載っている形になっているんですよ。

ご自身の爪は自然にだんだんのびてくるので、、



→当然、その上に載っている人工爪も  
本来の爪が伸びた分だけ、  
だんだん移動してきますね。

この分が新しく伸びたってことです。

人工爪とtubeを全部除去すると、、



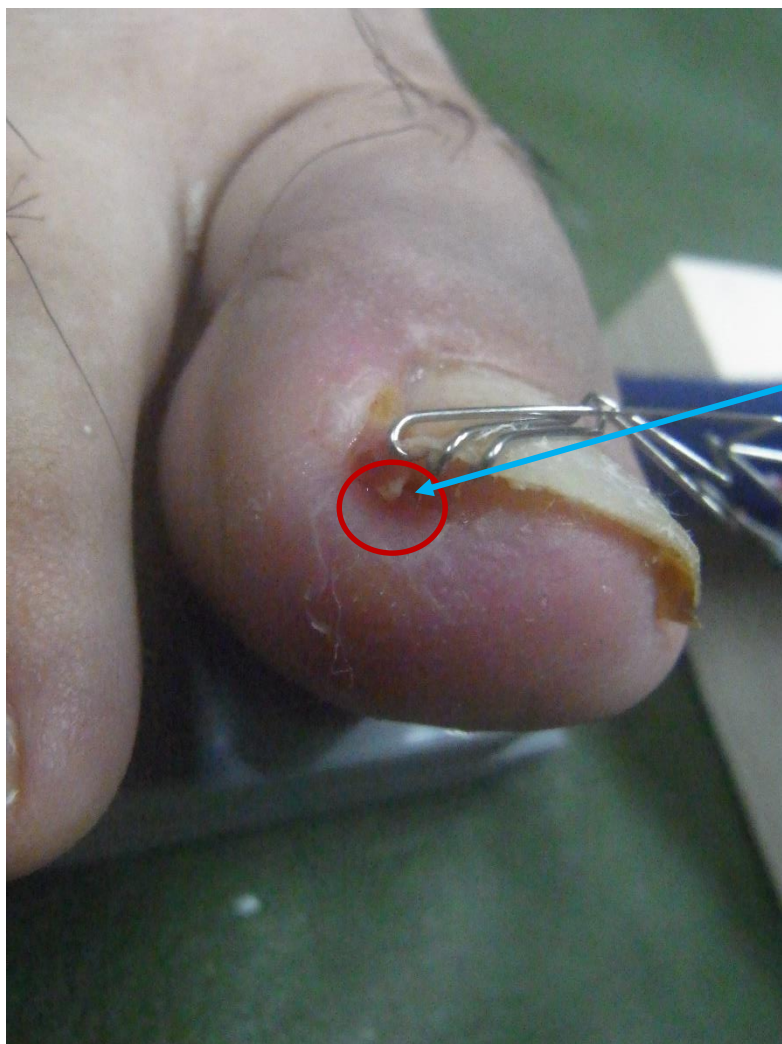
ココがへこんでいて、、

なーんだ、  
tubeの端が当たって痛かったのか、

と思いきや、、

痛みがない逆側にも  
同じようなへこみはあるので、  
Tubeの圧迫のせいだとは言えないナア。

じゃあ、中になんかある？



爪エレバで爪甲を引き上げると、

またもや、新たな爪刺が顔を出しました。

痛そうに見えるかもしれませんが、  
コレ、麻酔してません。  
爪を引き上げると、  
「痛みが楽になった」、と言われました。





### 爪端へのワイヤー装着

爪端をピンセットなどで持ち上げつつ、ワイヤーを掛けていきます。  
フックの引っかかり具合に問題がないかチェックします。、



### 施術中での矯正確認

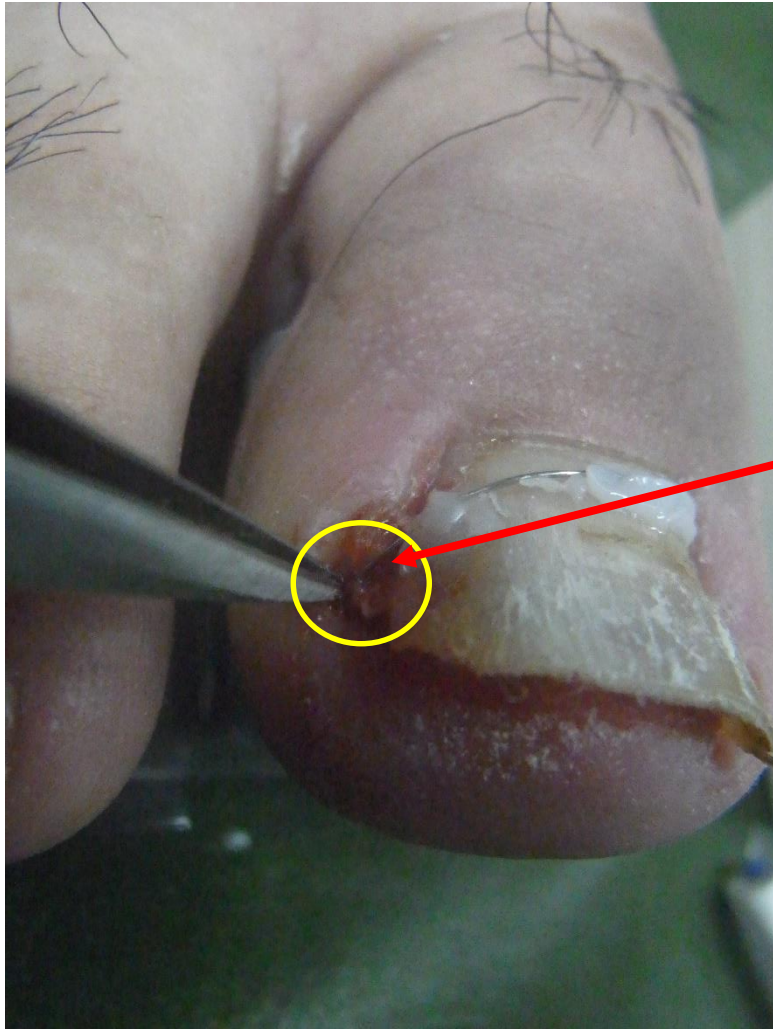
矯正はワイヤーを押さえ込みつつ、爪端を挙上するようにして行います。  
ワイヤーに負担がかかりすぎないように、爪の挙上はゆっくり行います。



### 光硬化樹脂によるワイヤー固定

、、、で、こうなる





新しく見つかった爪刺の部分に、  
ちゃんとワイヤーのフックが  
かかっています。

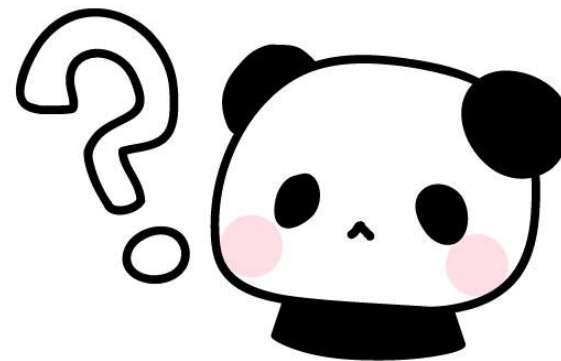


全体をコーティングして  
出来上がり。

実は、これが  
**巻き爪無痛矯正治療の  
そがわ法**です。

いままでなら、  
麻酔して、人工爪でやっていたのが、  
同じクオリティーで  
麻酔なしでできるのが魅力です。

振り返って、  
サテ、、、  
ハタシテ、、、、



今回、新たに発見した爪刺は、、、、

新しく生えてきた？  
でも今の爪の長さよりちょっと短いらいですよ

前回の処置で見逃し？  
だって、腫れてて見えなかったんだもん。

Tube挿入の際に、本来の爪から割れるようにできたもの？  
でもtubeを挿入したときは、痛みなく、スツと入ったんですよ。